# 第29回日本産業ストレス学会 一般演題採択一覧

**3月25日(金)**

| 時間 | セッション名 | 演題番号 | 演題登録番号 | 名前 | 演題 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9:40-10:40 | 優秀演題候補１ | O-01 | 1011 | 赤松友梨 | 5.5万人のストレスチェック結果と定期健康診断による体重・血圧の変化の関連 |
| | | O-02 | 1020 | 中島啓裕 | 職業性ストレスと退職後の認知機能低下に関する縦断的研究:愛知職域コホート研究 |
| | | O-03 | 1007 | 市倉加奈子 | 新型コロナウイルス感染拡大に伴う職務変化が就労者のストレスおよび生産性に与える影響 |
| | | O-04 | 1041 | 河田美智子 | コロナ禍における仕事における退屈と心理的ストレス反応との関連 |
| 10:40-11:40 | 優秀演題候補2 | O-05 | 1019 | 長谷川百代 | 近畿大学病院におけるCOVID-19に対応する医療従事者のメンタルヘルス支援について |
| | | O-06 | 1012 | 阿曽沼美南子 | 看護師における抑うつと睡眠の職場環境の違いによる比較～マインドフルネス介入を試みて～ |
| | | O-07 | 1008 | 星野寛子 | 保健師による職場環境改善活動の実践報告　～会社のニーズをとらえた取り組みで質と効果を上げる工夫～ |
| | | O-08 | 1049 | 島田恭子 | 接客担当者のカスタマーハラスメント体験および組織対策と、心身の変化との関連～業種別の検討～ |
| 10:45-11:45 | ポジティブメンタルヘルス | O-09 | 1004 | 福崎俊貴 | 日本人労働者のパーソナリティは職業性ストレスとワークエンゲイジメントの関連性をどの程度修飾するのか？：心理的苦痛との比較 |
| | | O-10 | 1017 | 堀田裕司 | 職場における支え合い行動を促進するWebアプリケーションを活用したワーク・エンゲイジメント向上プログラムの効果評価 |
| | | O-11 | 1039 | 隈川千星 | 多様な働き方を選択する労働者のキャリアとワーク・エンゲイジメントに関する質的研究 |
| | | O-12 | 1036 | 小林智之 | コロナ禍における勤労者の仕事パフォーマンスとエンゲージメントの実態調査 |
| | | O-13 | 1021 | 櫻谷あすか | Webアプリケーションを活用したジョブ・クラフティングプログラムのワーク・エンゲイジメントへの効果：無作為化比較試験 |
| 15:00-16:00 | 職場支援・ハラスメント | O-14 | 1014 | 落合由子 | コロナ禍テレワーク環境での上司のコミュニケーション行動が部下の職場の心理的居場所感とワーク・エンゲイジメントに与える影響 |
| | | O-15 | 1040 | 佐々木那津 | 仕事のストレス要因および職場の支援は新型コロナウイルス感染症ワクチンの副反応に影響を与えるか：前向きコホート研究 |
| | | O-16 | 1025 | 的場圭 | 大阪府内の訪問看護師に対するコロナハラスメントの内容と事業所に希望する対応 |
| | | O-17 | 1029 | 川上澄香 | 介護職員におけるトラウマティックな出来事に関する労災復命書を用いた分析 |
| | | O-18 | 1010 | 西村悠貴 | 小売り・卸売業における直接的および間接的な暴言とうつ傾向との関連について |
| | | O-19 | 1018 | 小田切岳士 | 組織的公正とハラスメントの関係性―2020年ストレスチェックデータに基づいて |
| 16:00-17:00 | 職場支援・<br>職場復帰支援・教育 | O-20 | 1037 | 高原龍二 | より配慮すべきは経営者か上司か: 中小企業における経営者・上司の行動と従業員のメンタルヘルスとの関連 |
| | | O-21 | 1045 | 益田和幸 | メンタルヘルス不調による休業者に対しリワーク導入による職場復帰後の就労安定性についての検討 |
| | | O-22 | 1022 | 藤澤佳澄 | リワーク版クリニカルパス導入によるリワーク支援の効果について |
| | | O-23 | 1034 | 照山恵 | 思考場療法®（TFT）によるアプローチを活用した休復職支援についての一考察～職リハ機関のリワーク支援における支援事例を通じて |
| | | O-24 | 1013 | 三上京子 | 社員のレジリエンス強化のための取り組み |
| | | O-25 | 1052 | 近藤雅子 | 産業保健専門職の育成を目的にした通年研修の活動報告－第二期を迎えての振り返りと今後の展望－ |